

## 謹賀新年

行政区の皆様 新しい年を迎え 明けましておめでとうございます。お正月は楽しく過ごせましたか？

旧年は地域活動も制約されさぞご不満もあったでしょう。

本年は地域近隣、皆様方が活発なお付き合い、お茶のみが出来ます様少しずつ活動していきましょう。

“地域は皆さまです”

新しい年が皆様にとって健康で実り多い年になります様お祈り申し上げます。

厚内地区行政区長会長 橋本 進

新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

厚内港とそこに携わる地域が益々発展することを祈り、地域が集う公民館となれるよう審議会一同頑張ります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

浦幌町公民館運営審議会

厚内部長 齋藤卓也

明けましておめでとうございます。

太平洋からの初日の出を浴び、黄金色に輝く厚内の街並みはとても神々しく感じます。

ご家族皆さんで楽しいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

厚内市街中心に佇む厚内駅は十勝で最も早く開業、12月25日に120年を迎えました。鮭などの海産物や塩、魚かす、枕木用の木材などを道内外に送り出し。夏場には、海水浴客が毎日何百人も乗り降り、駅前通りは大きな荷物を抱えた家族連れや児童・生徒で賑やかでした。今は、「過疎化のウィルス」が国土を覆いつくしていますが、小さな地域だから出来ることを…。皆で力を合わせ何かに挑戦してみませんか？ 公民館が人と人、行政や各種団体・研究機関、そして「あなた」を繋ぎます。

1月4日から開館しますのでお立ち寄りください。今年も宜しくお願いします。

厚内公民館長 佐藤芳雄 管理主任 長根むつみ

## 12月下旬・1月の予定

12月20日(火)	そば打ち同好会
21日(水)	寿かもめクラブ
23日(金)	親子クリスマス・クッキー作り教室(予定)
26・27・28日	小中学生学習サポート(浦幌会場)
28日(水)	仕事納め
12月29日～1月3日	年末年始休館いたします
4日(水)	仕事初め
5日(木)	出初式(中央公民館)
6日(金)	新年書き初め会・小中学生学習サポート(厚内子ども育成会)
12日(木)	第41回厚内公民館まつり実行委員会全体会議・各部会(予定)
16日(月)	健康カラオケ・ふまねっと・陶芸教室
17日(火)	陶芸教室
18日(水)	寿かもめクラブ
20日(金)	麻雀体験教室
23日(月)	寿大学「健康講座」・新年会
25日(水)	寿かもめクラブ
26日(木)	冬季減災・防災セミナー(予定)
30日(月)	ふまねっとの会



休館中の緊急連絡先 佐藤館長 090-3399-4916

浦幌町役場 015-576-2111(教委担当者へ連絡)

## 「第41回厚内公民館まつり」係留ロープを緩め静かに出航!

12月13日、第41回厚内公民館まつり準備委員会が開催されました。新型コロナにより2ヶ年間自粛し休止してまいりましたが、このままでは地域の火が消えてしまいかねない、地域の活性化や人々の心の健康の為に「祭り」を復活させようという事になりました。ただし、コロナも未だ終息していない状況なので、芸能発表やバザー・海産物販売は中止し。今後、実行委員会のもとで最大限コロナに注意を払いながら事業を企画実施することになりました。第41回厚内公民館まつりは2月19日(日)を中心に前後1週間を予定しております。展示を中心に人々が密にならないような事業を行いますのでご観覧下さい。

### 公民館講座「新春初心者マージャン体験教室」

日時 1月20日(金)

13:30~15:00

会場 厚内公民館

※頭脳と指先のリフレッシュにいかがですか。

◎地域で進めよう!! 「挨拶」「早寝、早起き、朝ごはん」「ノーテレビデー」「家読・朝読」運動

◎町民みんなで体力づくり!!

◎小中一貫コミュニティ・スクールの推進

浦幌町教育の日(毎日が教育の日です)



終戦記念展示会「戦争体験を語る」

令和四年八月三十日

寿かもめクラブにて収録

第4回 子どもの目で見えた戦争

(前号から続く)

私達が乗ろうとしていた引揚げ船は、留萌沖で魚雷に攻撃されて沈没、多くの方が亡くなりました。私達は、お陰さまで収容所にいたから死ななくてすんだけど…。漁船で逃げようとした人たちも途中で大勢亡くなったそうです。当時はシラミとかノミがひどかった…。歩けないお婆さんとか病気や障害がある子どもとかは連れていけないから道端に置いてきなさいとかね…。

幸い、パスポートを発行してもらい出国することが出来たのです。家族七人、大きな貨物船で真岡を出港、函館に向かうことが出来ました。父親が船の炊事班に入り余り物を貰って食べさせてくれました。函館が見えてくると日本人はみんなオイオイと泣き、日本だー！って泣きながらロシアの黒パンを海に投げ捨てていました。

函館に着くと、すぐにリンゴとかおにぎりをもらいました。すごく美味しかったことを今でも思い出します。子どもいるから秋田か

青森に開拓に入りなさいと言われてたけど、父の故郷の余市に行きました。そこからなにか十勝太に来たんです。小さい頃の事はこれ位しか覚えていません。でも、ロシア語は今でも少し話せます。数え方とか「こんにちわ」「ちようだい」とかね…。

そんなことよりは、いかほど親が苦勞してきたか…。父親が亡くなった時は六十八歳でした。苦勞ばかりして逝ってしまった事が心から悲しかったです。

大塚 いや、…。胸が詰まる思いだよね。親はどんな思いだったんだろうって…。私は根室にいたんです。3歳ぐらいで終戦だったから…。その頃で覚えてるのは母親と手を繋いで歩いている時に見えたすごい煙しか覚えてない。

横山 昔、ヤミ米っていうのあってね、買ったら捕まるもんね。

皆川 ヤミだからね…。

平野 ヤミ米買いに行った人って背中に荷物を背負って、赤ちゃん背負うみたいに歩いてるからヤミ米を背負ってると思って検査の棒を刺したら、本当に赤ちゃんだったという事件があったね。

館長 坂井さんは更別でしたよね

坂井 はい、うちは農家だったんです。

佐藤 農家さんは食べる物は不自由しなかつ



浦幌のマスコット「ウラハとホロマ」  
皆さんそれぞれ見比べ、楽しいニードルフェルト教室でした  
11月24日



久しぶりの会食1  
米寿のお祝いもかねて  
寿かごめクラブ



たしよ？

坂井 ええ、おかげさまでね。勤労奉仕で農家さんの手伝いした時、どんなご馳走が出るかってそれが楽しみだったね。それから、兵隊さんが出征するでしょ。その時、皆で駅に見送りに行きました。毎日のお見送りだもん…。そこに行って日の丸の旗を力一杯振って見送りました。

佐藤 更別って山も海もないのに防空壕あったの？

坂井 ええ、一軒に一つずつあったよ。私は戦争中、学校に入ってたから飛行機飛んできたら防空壕に逃げろってしよっちゆう言われるから勉強どころじゃないんだよね。戦争で男の人がとられて畑仕事に男の人がいないから学校から勤労奉仕で農家さんに手伝いに歩いたよ。で、飛行機がきたら防空頭巾かぶって畑の畝と畝の間に寝たばってじっとしていたよ。

佐藤 飛行機が飛んできたのはアメリカの飛行機？日本じゃなくて？

坂井 アメリカの飛行機だったよ。不思議だけど親はわかるんだもんね。兄たちは鋤路の部隊に入っていた。鋤路に爆弾落とされたら更別でも音がすごかった。けど、鋤路ばっかりじゃなかったんだろ。兄たちは無事に帰ってこられたんだけどね…。それで、終戦

昭和二十年八月十五日 玉音放送

朕深ク世界ノ大勢ト帝国ノ現状トニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ忠良ナル爾臣民ニ告ク朕ハ帝国政府ヲシテ米英支蘇四国ニ対シ其ノ共同宣言ヲ受託スル旨通告セシメタリ

・・・敵ハ新ニ殘虐ナル爆彈ヲ使用シテ頻ニ無辜ヲ殺傷シ慘害ノ及フ所真ニ測ルヘカラサルニ至ル而モ尚交戦ヲセムカ終ニ我民族ノ滅亡ヲ招来スルノミナラス延テ人類ノ文明ヲモ破却スヘシ・・・朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ皇祖皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ是レ朕カ帝国政府ヲシテ共同宣言ニ応セシムルニ至ル所以ナリ・・・

(七十七年前、かもめクラブの皆さんがまだ子供の頃、ラジオで放送され終戦を知った)

後は戦争の話だったり写真だとかは破ったり、教科書も黒く塗ってあったりしてね…。

佐藤 以前に家の前を引揚者や疎開者が通って行ったって言ってませんでしたか？

坂井 ええ、東京からも来てたね。農家だから畑広いし、そこに居させてあげてたんだね。役場が大勢移住させてたね。私の同級生には引揚者や疎開者の人が多かったです。それでもって食糧難でしょ。引揚者の友達はお弁当にイモだんごを持って来てた。昼になる

と硬くなるしよ。可哀そうだったね。

佐藤 私たちは子どもだったから良くわからなかったが、苦勞したのは私達の親！いかほどに苦勞したかわかんない！沢山泣いて…、沢山苦勞して…、言い伝えるのなら親に聞かなきゃ！ でも既に親は無し…。

館長 短い時間でしたが七十七年前、まだ、幼い皆さんが戦争という極限状態の中、歴史の潮流に翻弄されながら必死に生き抜いてきた様子を知ることが出来ました。これから、昭和・平成・令和の生き証人として孫や曾孫さんたちに貴重な体験を語り続けて頂きたいと思います。有り難うございました。



寿大学生のリクエスト。折り紙で着物。

「ステキだね～」 11月21日



毎月2回行われている軽運動「ふまねつと」日常の基本「歩く」を医学的に分析。普段とチョット変えた足運びに、より脳が刺激され、全身のアンチエイジングに繋がっているようです。良く眠れるようになりました。

脳の血流が良くなったが感じがします。(館長談)



「国際津波防災の日」(11月5日) 小企画展「厚内にも大津波が打ち寄せ大きな被害を被りました！」では、来館者はあの日来襲した津波に「あと、1m高かったら・・・！」と、当時は思い出し見入っていました。皆さん避難の手立てを今一度確認しましょう。



11月20日、厚内パークゴルフ場納めが行われました。冬の訪れを前に小雨もコロナも吹っ飛ばすぞ！と元気なプレーに大笑い！その声に鹿たちも山奥へ逃げ込んだとか？

春から丁寧に芝を管理して頂いた管理人さんと体振の皆さん有り難うございました。



厚内地区軽スポーツセンター運営委員会と体育振興会の皆さんで大掃除！「来年は、利用者が増えたらいいな～」

十一月二十八日、浦幌町教育委員一行が厚内公民館を訪問。当館の運営方針や重点、事業等の展開や利用状況を聴取。委員からは細やかな広報活動の持続、直面する課題を地域一丸となって解決するための公民館の役割についてや「語り部」の記録・公開について等の質疑やご助言をいただきました。普段接することの少ない教育委員さんと懇談ができて、有意義なひと時となりました。(館長)



文芸厚内  
睦月の巻

四季の移ろいや日常の営みから生まれた言霊を紡いでみませんか  
※投稿をお待ちしています

俳句  
初日の出厚内の街神々し  
餅つきに目を輝かし子供らは  
凍てつきて腕も足も金縛り  
寒ツブに酔いて吾身のほろ苦さ  
子供らは冬枯れ厳し戦乱に  
佐藤芳雄

短歌  
学長の誘導上手く戦争話  
熱弁振るう寿生徒  
戦争や幾千万の命取り  
終戦おわって見れば苦勞と涙  
サハリンと二つの祖国冬惚ぶ  
木枯らしや油分と栄養老いの身に  
佐藤成子

川柳  
また一枚落葉のように喪ものはがき  
泰然とテトロポットや冬怒涛どとう  
目が笑うマスクの会釈誰だっけ  
ワクチンをうって良いのか突然死  
腹立てばお前寝てると横にする  
皆川昭徳

12月15日、厚内公民館図書室に新刊が100冊入りました。ご利用をお待ちしております。

年末・年始は読書三昧も良いのでは！



毎月、第3木曜日の朝、図書館の司書さんが、新刊図書の中から100冊を選びすぐり届けてくれている。一年に1200冊だ！リクエストにも応えてくれるという。これを利用しない手は無い..。

ペタン・ペタン・ペタンこ！  
少し前には、師走になると何処の家からも聞こえてきた音。白の周りを子ども達が駆け回り、白い湯気に囲まれながら家族総出で餅をつき正月を迎える。久しく見られない光景となった。明日は三世代餅つき交流会だ！先生はもちろん寿大学生。前日から準備に余念がない。何日も前から小豆をうるかしお汁粉に、お雑煮も鶏ガラのスープづくりから始まる。嬉々とした姿に今年一年多くを学ばせて頂いた。(私も頑張らなくちゃ..！)